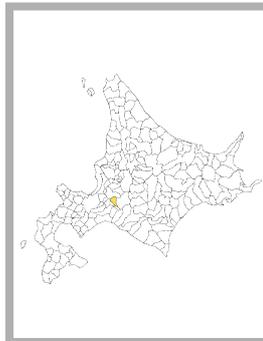


## 栗山町(北海道):町営バス

### 事業者撤退後の町営バス運行と都市再生モデル事業の実施

|          |                            |          |                 |
|----------|----------------------------|----------|-----------------|
| 人口       | 14,352<br>人                | モード      | コミュニティ<br>バス    |
| 面積       | 203.84<br>km <sup>2</sup>  | 法令       | 道路運送法<br>第 78 条 |
| 人口<br>密度 | 70.40<br>人/km <sup>2</sup> | 運営<br>主体 | 栗山町             |



#### ■ 取組の背景

##### 地域と交通の状況

- ・ 国道 234 号線に沿う形で 3 つの市街地がある南北に細長い町で、北と南に農村集落が続いている。
- ・ 平成 2 年に、それまで運行していた民間事業者(中央バス・夕張バス)の事業撤退が決まり、代替策として町営バスが登場した。
- ・ 人口減少および自家用車へのシフトが進み、町営バスの利用者減少が続いたため、収支的には赤字が続いている。
- ・ 町内で唯一の公共交通機関なので、廃止するわけには行かず、また民間移管も極めて難しく、栗山町の財政圧迫の要因でもあった。

##### 【生活交通の確保】【公共交通の利用者減少】

##### 活用メニュー(制度・協議会等)

- ・ 平成 19 年度に都市再生モデル事業の指定を受け(総務省の補助で、国土交通省北海道運輸局が担当)、予算 600 万円上限でスクールバスとの混乗等、3 週間の実証実験を行った。

##### 【都市再生モデル事業】

#### ■ 実現したサービス

##### サービス内容

- ・ 町営バスは、6 路線 25 便が 200 円均一運賃で利用できる。
- ・ 運行形態は全て町有の自家用自動車による有償旅客運送である。
- ・ 運行は、地元タクシー事業者 3 社(丸幸ハイヤー、栗山ハイヤー、栗山交通)に栗山町所有のバス7台を貸与して委託した。
- ・ 実証実験については貸切バスによって以下を行った。
  - ①実験期間の運賃は無料とした。
  - ②角田循環線を新循環線としてエリアを広げ、便数を見直した。
  - ③児童の優先が前提であるが、一般客がスクールバスを利用できるようにした。
  - ④旅客を運ぶだけでなく、滝下地区から駅前 JA 物産店に、無料で農産物の搬送や郵便物を一緒に運ぶことも行った。
  - ⑤日赤病院や役場等は玄関先にバスを停車させた。

##### 【路線再編】

##### 技術

- ・ 民間ではできなかったノンステップバスを導入した。

##### 【ノンステップバス】

## ■ 効果と負担

### 効果

#### 【利用者数の維持】

- ・ 実証実験については、貴重な意見が寄せられたので、平成 20 年度も続ける計画。
- ・ 路線数及び運行回数の増加や、ノンステップバスの導入、スクールバスとの混乗などで利用者離れを防ぐことができた。

### 負担

#### 【市町村負担】

- ・ 町から 3 社への補填は平成 12 年度から平成 17 年度平均で約 3,000 万円/年(スクールバスを除く)となっており、一層の圧縮が求められている。平成 19 年度については補助事業採択となっていたため、国庫補助金 600 万円を得た。
- ・ なお運行収入は、約 500 万円である(中学生以上 200 円/回、高齢者 100 円/回)。

## ■ プロセスと調整

### 計画策定と会議実施

#### 【プロセス:体制構築】

- ・ 平成 17 年度に町営バス検討対策委員会を設立しており、メンバーは役場・商店会・連合町内会等から年度単位で選出される。これにより平成 19 年度栗山町営バス実験運行事業に繋がった。

### 運行開始後のフォローアップ

#### 【プロセス:フォローアップ】

- ・ 平成 2 年の町営バス開始時に利用者アンケートは実施していないが、実験運行では OD 調査を実施した。
- ・ 平成 20 年度に地域公共交通協議会を設立し、実証実験運行を行うべく申請する予定である。メンバーは運輸支局・警察・PTA・町内会等で体制を強化して望む方針。

### 住民との調整

#### 【調整:対住民】

- ・ 混乗する場合のスクールバス利用について、PTA と高齢者の要望に食い違いがあったが、庁内の運行担当者や教育委員会で調整し、ルートの設定やどの便に混乗させるか、通学時間に空席があれば乗車できること等を決めた。

## ■ 創意工夫・知見・教訓

### 首長の先導

#### 【知見:政策の位置づけ方】

- ・ 首長の旗振りが発端で実証実験が実現できたのは、札幌大学の千葉博正教授との関係が重要であった。また、本格運行に際しては、多くの制約が予想されるので、クリアしなければならない問題が残っている。

### 自治体単位での工夫の限界

#### 【教訓:連携強化の必要性】

- ・ 厳しい財政事情の中でも行政で出来る範囲のことを工夫しながら続けるしかなく、民間への移管も難しい。運行において NPO やシルバーパワーの活用も検討したが、事故発生時の対応について問題をクリアできずにペンディングになった。結論的には、人口が年々減りつつ高齢者が増える中では、自治体単位での工夫は限界と思われ、他機関との連携により問題を打開する必要がある。

## ■ 連絡先、参考 URL 等

**連絡先**：栗山町建設水道課 電話 0123-72-1111

**参考 URL**：栗山町営バス路線図及び時刻表 <http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/choueibus/index.html>

資料編

表. 路線名及び路線内容

| 路線名        | 運行系統        | H16年度  |      |    |      |      | H17・H18年度 |      |    |      |      | 備考                                   |
|------------|-------------|--------|------|----|------|------|-----------|------|----|------|------|--------------------------------------|
|            |             | 料程     | 運行回数 | 便数 | 所要時間 | バス停  | 料程        | 運行回数 | 便数 | 所要時間 | バス停  |                                      |
| 1 滝下線      | (起点) 栗山駅    | 30.7km | 4回   | 9便 | 49分  | 42ヶ所 | 31.9km    | 3回   | 7便 | 49分  | 43ヶ所 | 日曜・祝祭日 運休                            |
|            | (終点) 滝下     |        |      |    |      |      |           |      |    |      |      |                                      |
| 2 栗山・角田循環線 | (起点) 栗山駅    | 22.6km | 4回   | 4便 | 40分  | 28ヶ所 | 21.6km    | 3回   | 3便 | 38分  | 27ヶ所 | 土・日、祝祭日 運休                           |
|            | (終点) 栗山駅    |        |      |    |      |      |           |      |    |      |      |                                      |
| 3 鳩山循環線    | (起点) 栗山駅    | 19.9km | 5回   | 5便 | 65分  | 38ヶ所 | 19.9km    | 4回   | 4便 | 60分  | 38ヶ所 | 土・日、祝祭日 運休<br>スクールと住民の混乗<br>冬季間は5便運行 |
|            | (終点) 栗山駅    |        |      |    |      |      |           |      |    |      |      |                                      |
| 4 日出線      | (起点) 栗山駅    | 19.3km | 3回   | 6便 | 38分  | 28ヶ所 | 19.3km    | 3回   | 6便 | 38分  | 29ヶ所 | 土・日、祝祭日 運休                           |
|            | (終点) 日出仁木宅前 |        |      |    |      |      |           |      |    |      |      |                                      |
| 5 南学田・栗山線  | (起点) 継立小学校  | 26.2km | 1回   | 2便 | 45分  | 28ヶ所 | 26.2km    | 1回   | 2便 | 45分  | 28ヶ所 | 土・日、祝祭日 運休<br>スクールと住民の混乗             |
|            | (終点) 栗山駅    |        |      |    |      |      |           |      |    |      |      |                                      |
| 6 栗山・阿野呂線  | (起点) 南学田公民館 | 12.2km | 1回   | 2便 | 23分  | 19ヶ所 | 12.2km    | 1回   | 2便 | 24分  | 20ヶ所 | 土・日、祝祭日 運休                           |
|            | (終点) 栗山駅    |        |      |    |      |      |           |      |    |      |      |                                      |
| 7 鳩山循環線A   | (起点) 栗山駅    | 15.5km | 2回   | 2便 | 34分  | 26ヶ所 | -         | -    | -  | -    | -    | 廃止                                   |
|            | (終点) 栗山駅    |        |      |    |      |      |           |      |    |      |      |                                      |

出典：栗山町資料

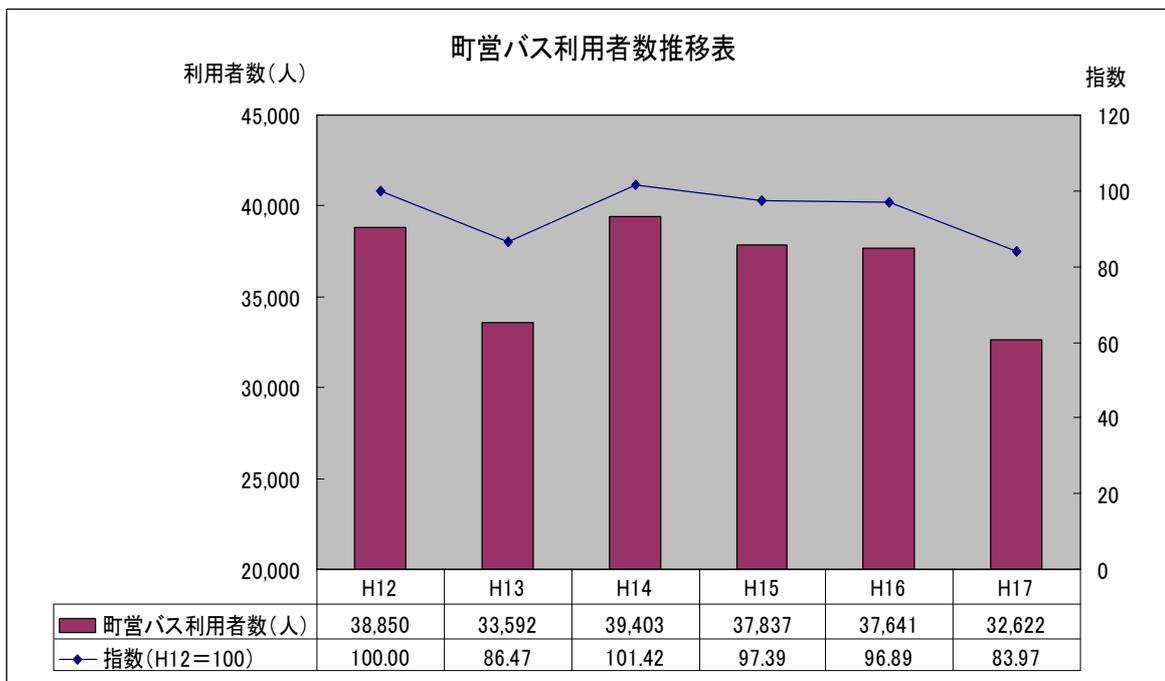


図. 利用状況

出典：栗山町資料

## ■ 資料編

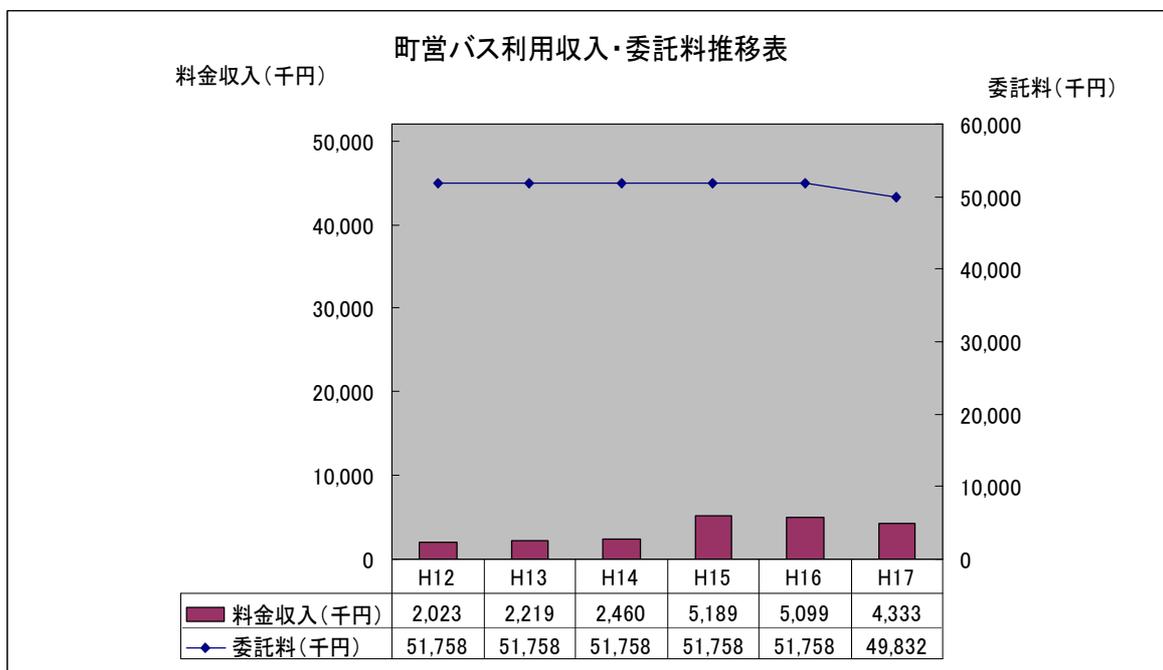


図. 収入状況

出典：栗山町資料